

●出力特性

ピーク回転にかけて谷のない上昇フィーリングを提供する出力特性に変更して扱いやすさを高めるとともに、従来に対して高回転域の出力を向上させました。

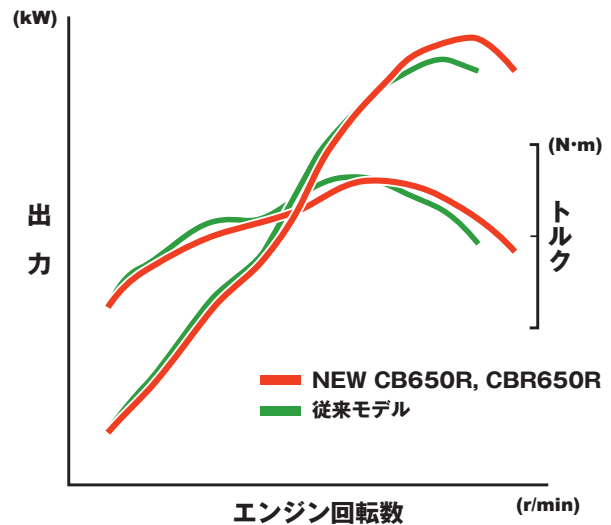
スロットル全閉から中開度域の3000~8000rpm付近のスロットルレスポンスを高めたことによりワインディングなどでのキビキビした走りを提供します。

また、特に7000rpm付近からのひとときわ刺激的な吹け上がり感は、CB650R、CBR650Rの直4ユニットならではの大きな魅力の一つです。

さらにCBR650Rでは吸気系にツインラムエアダクトを採用し、高速走行時の動力性能にさらなるエキサイトメントを提供します。

CB650R、CBR650Rでは以下の各諸元を変更し、これらの特性を実現しました。

■出力特性比較イメージ図



●動弁系諸元変更

従来よりも高回転型の特性とするために、カムプロファイルを見直しバルブタイミングを最適化しました。また、この高回転化に伴う荷重変化に対応したバルブスプリング諸元の最適化、幅を増やし強度を上げたカムチェーンの採用、バルブシートの材質変更による耐久性向上などを図りました。

これら動弁系諸元の変更により、出力向上とスムーズなトルク特性に大きく寄与しています。

●ピストン形状変更

ピストン頭部形状変更により燃焼室形状の最適化を図りました。併せて着火性能の高いイリジウムプラグを採用することで混合気をより効率よく燃焼させ、吹け上がり感とスロットルレスポンスに寄与しています。

■ピストン形状比較 (イメージCG)

